

直近の米の需給状況をお知らせします！

○令和7年産の相対取引価格（令和8年1月時点の出回りからの年産平均）は、「まっしぐら」で35,172円/60kg

詳しくはこちら
(農林水産省HP)

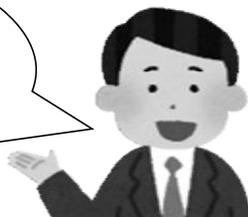


○全国の民間在庫量（令和7年12月末）は、令和3年産、2年産に次ぐ高水準。

相対取引価格は、緩やかな下落傾向であります。

⇒主食用米の供給量が過剰になると、米の価格が急激に変動するおそれがあります。

国の需給見通しでは、令和8年度の主食用米生産量は令和7年度から5%程度減少する見込みとされています。



米の取引価格はまだ高いけど、在庫量が多くなっているから作りすぎると値崩れするかもしれないのか...
じゃあ何を作るか考えないとなあ



令和8年産の営農計画作成に当たっては、どの作物を作付けすればよいか、集荷事業者等とよく相談しましょう！

【参考：水田活用の直接支払交付金の単価表】

※国の予算成立や配分額の確定前であるため、**交付単価や要件等に変更が生じる場合があります。**

交付対象作物 (水田)	農業者等への交付単価 (10aあたり)
小麦	35,000円 ~ 51,000円
大豆	35,000円 ~ 65,000円
加工用米	20,000円 ~ 41,000円
飼料用米	55,000円 ~ 134,000円
新市場開拓用米 (輸出用米等)	20,000円 ~ 55,000円

※**主な作物を抜粋**

その他の対象作物等、詳細についてはお問い合わせください。